

## 教育とSDGsについて

開倫塾  
塾長 林明夫  
(開倫ユネスコ協会 会長)

### <はじめに>

「誰一人取り残さない教育」に向けての「開倫塾の挑戦」を御報告いたします

### <養護施設の子どもたちへの学習塾での教育支援>

- (1) ①養護施設の子どもたち(小学生・中学生・高校生)に対して、公的助成以外の学習塾での費用を無料とし、学習塾での教育サービス支援を行っております。
- ②特に、学校の補助、定期テスト対策、高校入試・大学入試などの受験勉強で役立っているようです。
- ③また、塾の授業のある日もない日も、開倫塾の先生方の勤務時間内であれば、夕方から夜10時30分(東京は10時)まで、開倫塾の空いている机・椅子を活用して、自学自習の機会を無料で提供、長時間自己学習能力を育成しています。



### <受刑者への学習指導・高卒認定試験受験指導>

- (2) ①小学・中学・高校レベルの教科教育内容が十分に身に着いていない栃木刑務所(女子刑務所)の受刑者に対し、15年以上前から開倫塾の先生方を派遣し、基礎教育を実施、成果をあげています。
- ②近年は、高卒認定試験の合格指導をし、成果をあげています。
- ③塾長は、毎年コース開講日に参加の受刑者に対し、学ぶ意味や効果の上がる学習方法を伝授、辞書・新聞・読書・図書館に親しみ、社会復帰を果たすようお伝えしています。

### <問題解決型教育相談>

- (3) ①「問題解決型の教育相談所」を併設。
- ②不登校などで困っている子どもや保護者の問題解決のため、子どもや保護者から実状を聴取。
- ③場合によってはクラス担任や学校長などとも話し合い、転校も含め、問題解決にあたっています。



### <辞書・新聞・読書・図書館を活用しての読解力の育成>

- (4) ①開倫塾では、顧客を「塾生・保護者・地域社会」と「定義」。塾生だけでなく、保護者や地域社会の皆様にも<辞書・新聞・読書・図書館を活用しての読解力の育成>を呼びかけ、支援をしています。
- ②なぜなら、<誰一人取り残さない教育>の第一歩には、様々な知識・情報を「読み解く力」「読解力」を身に着けることが求められるからです。
- ③この成果を顕彰するために、開倫塾の社員が中心になって設立した「開倫ユネスコ協会」では、毎年秋に「文芸大賞」を企画運営、小説・童話大賞、詩・短歌・俳句大賞、エッセイ大賞、デザイン大賞、NIE(新聞を教育へ)大賞などの受賞者を表彰しています。
- (5) <ユネスコ世界哲学の日記念事業>  
毎年11月第3木曜日には、「ユネスコ世界哲学の日記念講演会」を、「価値(大切さ)、意味(意味付け)、秩序(自己決定)」をテーマに実施しています。



### <おわりに>

このように民間教育機関の一つである学習塾であっても、本業に即した形であまり無理なく、持続可能な形で取り組めるのが「SDGsの教育」部門と考えます。皆様もぜひ、御挑戦ください。